

てんのうへいかぎよせい

天皇陛下御製

さち へいせい

「幸」(平成十六年)

ひとびと

さちねがい

くに

うち

人々の 幸願ひつつ 国の内

じゅうごねん

めぐりきたりて 十五年経つ



てんのうへいか

にほんぜんこく

とどうふけん

天皇陛下はこの三十年、日本全国を巡られ、四十七都道府県を

いじょうたす

がいこくほうもん

そうきより

二回以上訪ねられました。外国訪問も含めると、その総距離は、

まん

なんと六十二万四千三百一十一キロメートル※になります。

なが

てんのうへいか

きも

めく

この長い道のりを、天皇陛下がどのようなお気持ちで巡られた

つた

いっしゅう

のが、伝わってくる一首です。

ぜんこく

ほうもん

さまざま

たちば

こんなん

ま

三十年にわたり、全国をご訪問され、様々な立場で、困難に負

いっしゅうけんめい

ひとびと

はげ

しあわ

いの

けず一生懸命生きている人々を、励まされ、幸せを祈り、ずっと

みまも

てんのうへいか

かんしゃ

きも

かぞく

見守ってくださいさる天皇陛下への感謝の気持ちをこめて、家族のみ

こえ

だ

よ

んなで声に出して読んでみましょう。

※平成三十年八月までの乗り物もふくめた移動距離です。